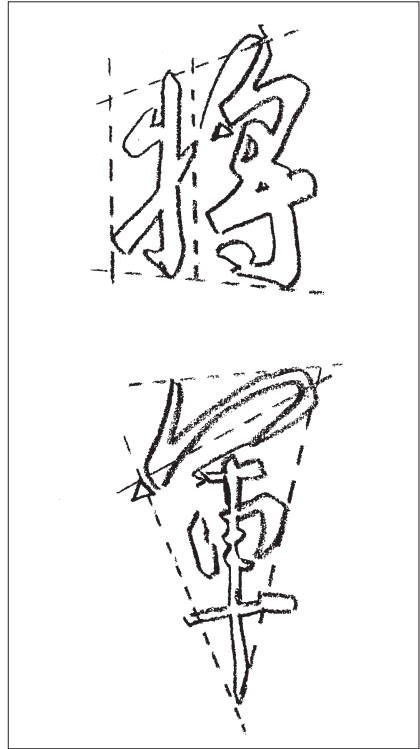


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

興福寺断碑 王羲之



- 1、 語句「将軍」
- 2、 形式「半紙タテ使用。中央に「将軍」と臨書し、左余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、 概観「臨書において何を選択するかというのは、その人の書の特質（個性と）って面白い（か）を左右する程重要だと思われる。では、何を基準に選ぶのかと聞かれたら、
 ○自分に足りないものを補うもの。
 ○こんな字を書きたいと心底思えるもの。
 と答えることにしている。
 この臨書部は六回前後と限られています、その選択の一助となれば幸いです。本気で勉強したいなら、法帖を購入して頂きたい。一年・二年とじっくり臨書すべきだと思います。
- 4、 各字のポイント
 将 偏は巾を狭く。一画目軽く入筆し、少し突いてから筆を引き上げる。三画目から傍の一画目に意連。△では筆を返す。「寸」は重厚に。
 軍 鋒先で入筆し、△で筆を突き、筆を引き上げ、極端とも思える程右肩を上げ、巾広く。「車」は細身の結体。「車」の縦画は切れているように見えるが、もちろん繋げて下さい。

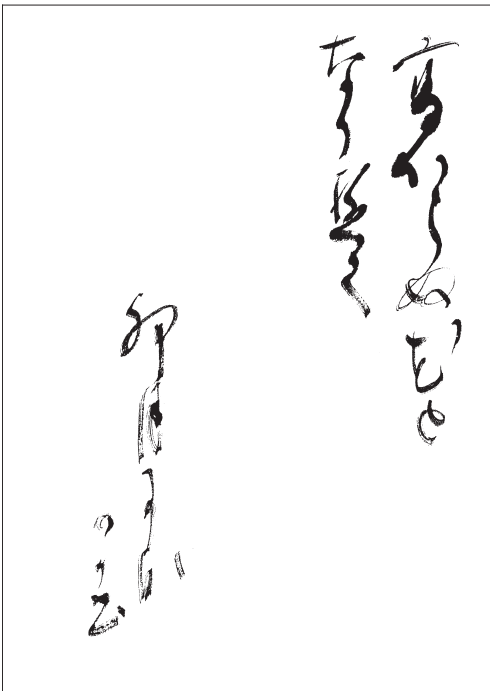
半紙課題 (予告) (五月二十二日締切)

平岡華雪先生書 和光同塵 (老子)



訳：己の知恵の力を和らげ、世俗の塵に同化していく。

平岡華雪先生書 高からぬ花となりゆく卯月かな (蘭更)



興福寺断碑



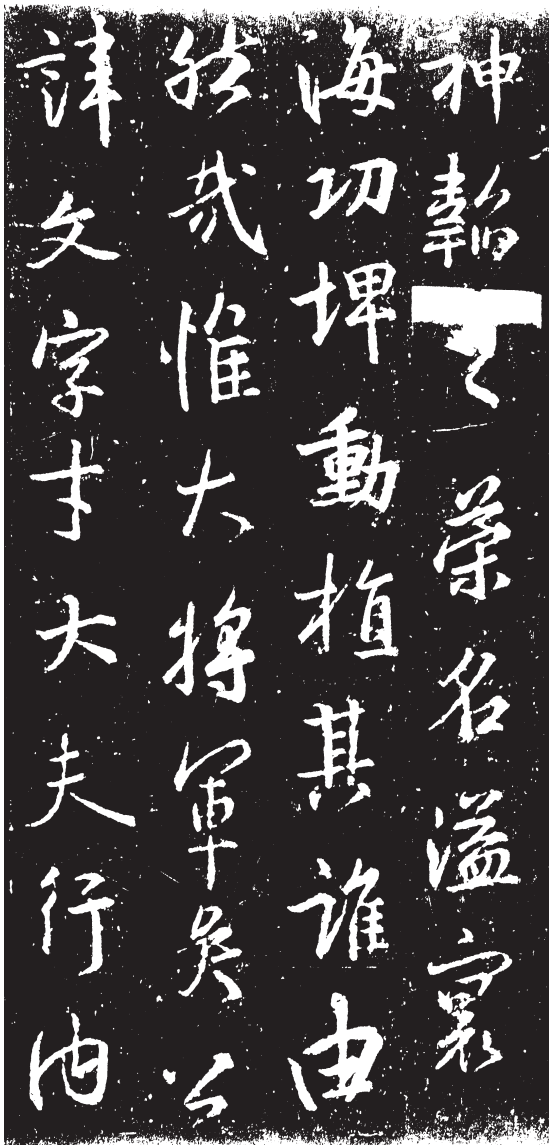
(韜……之) 策。名溢寧海。功埤動植。其誰由然哉。
(韜……之) 策、名は寧海に溢れ、功は動植に埤す。其れ誰か由お然らんや。

条幅臨書部は半紙臨書部と連動
しています。半紙に取り組んだ
方は是非条幅にもチャレンジし
てください。また条幅だけ出品
も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を
工夫し書き入れる。

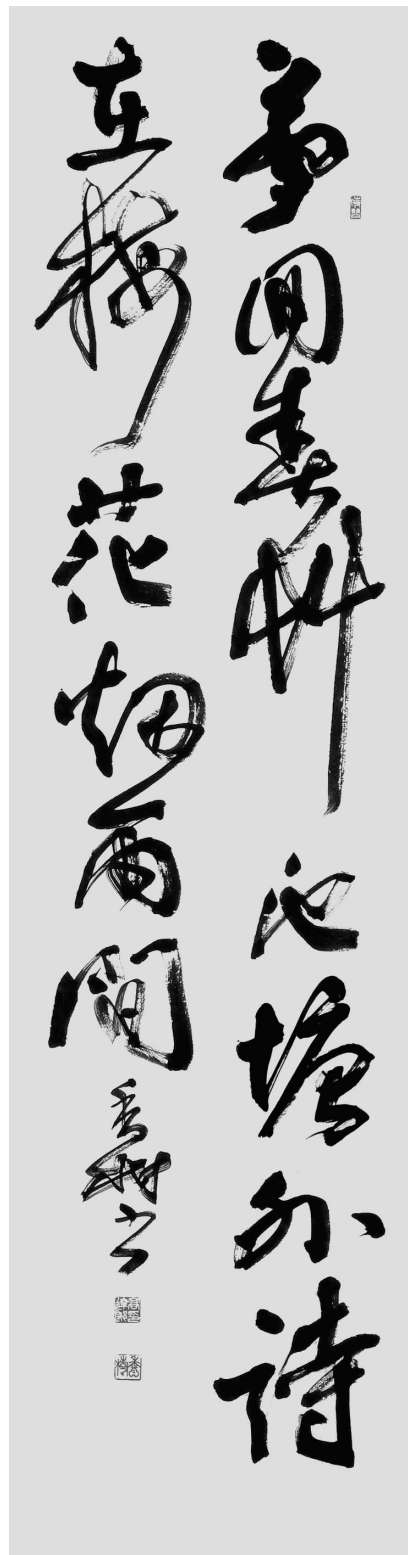
▽出品料五四〇円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A 高橋香樹主幹書

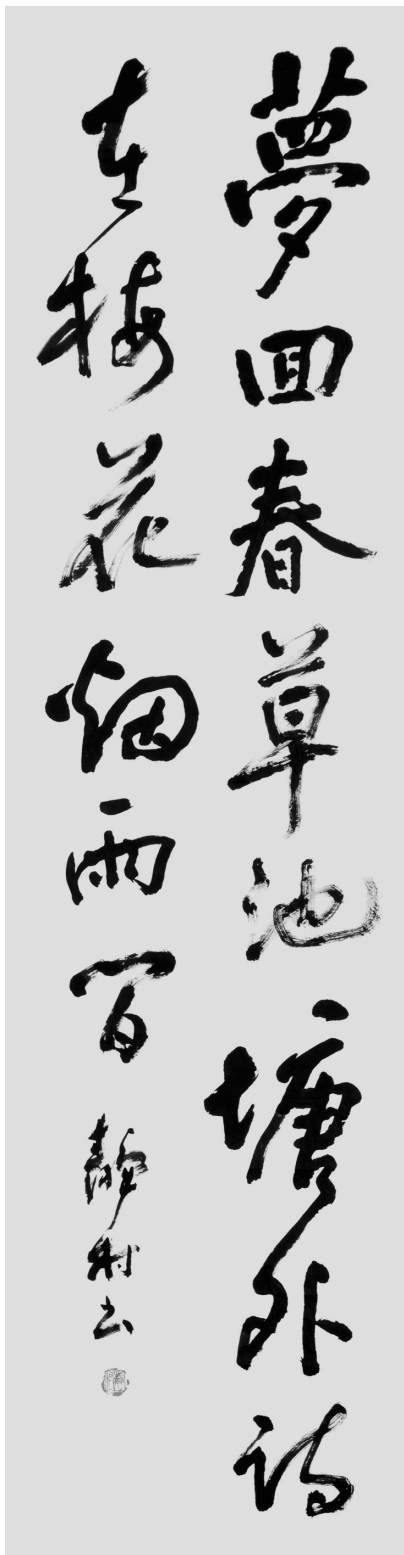
夢回春草池塘外 詩在梅花烟雨間 (楊公園)
夢は春草池塘の外に回り、詩は梅花烟雨の間に在り。



B

鈴木静村書

私は渴筆を多用する傾向があり、渴筆を抑える為、気持ちでは行書を多くと思いつながら、修正しているうちに草書が多くなってしまいました。草書にするると自然に筆が速く動いてしまうようです。「草」は「艸」にして縦長にし、「梅」も終画を伸ばした。墨継ぎは「塘」と「花」です。墨継ぎ時は含墨量を多くしたいと思いました。



この作は単体を主に連綿は二ヶ所。ただ「塘外」の連綿線は美画的で重苦しい。これは失敗。細めでスッキリさせたい。夢 行書体は多様、字典参考に効果的表出を。春草 一般化された書きぶりを打破し、各自で新味を。塘 墨継ぎ。詩 右行末字を草体で軽妙に締めたい。在梅花 渴筆部分、訳：夢は春草の池の堤をめぐり、詩は春雨にけむる梅花の間にある。 意連に留意。烟 墨継ぎ。雨 中四点に種々工夫。間 草体で

予告 (五月二十二日締切)

春日高樓聞竹枝

梨花如雪柳如絲 (銭惟善)

快く締めたい。

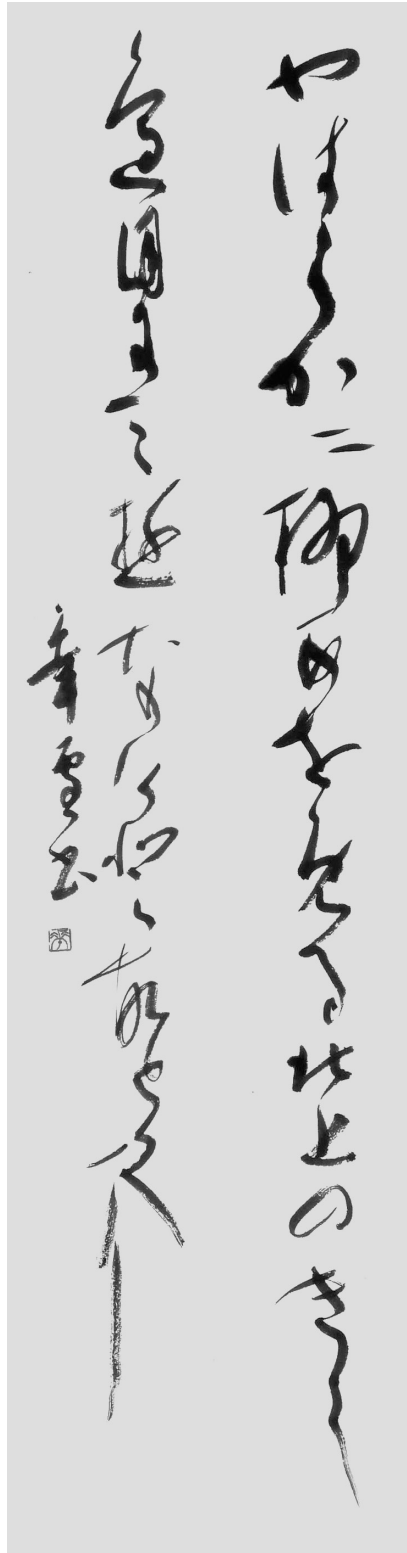
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

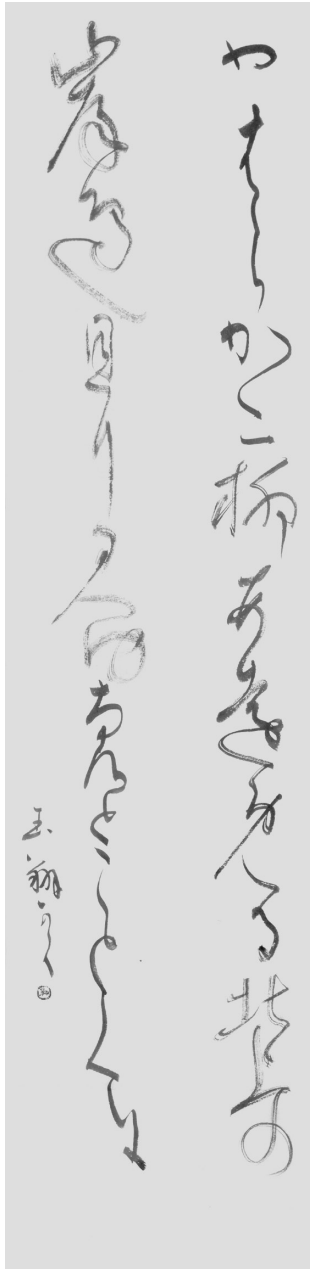
やはらかに柳あをめる北上の岸辺目に見ゆ泣けごとくに (石川啄木)
 やはらか二柳あを免る北上のきし邊目三遊な介登故と久耳



B

福田玉翔先生書

や者らか二柳あ遠免る北上の岸邊目耳見ゆ奈介とことく耳



一握の砂

この歌は『一握の砂』に収められている。啄木の現実の日常と回想や心象風景を交錯させた青春の自画像とも言える歌集。

北上は啄木の故郷岩手県にあり、「泣けごとくに」からは、上京するに至った複雑な心情が読み取れる。

学び方

一行目は、書き出しに単純な文字を選び、中間に少々重みのある文字、行脚は小ぶりにまとめてエンタシスの柱のようなイメージに作りました。
 二行目は、行頭に濁筆を生かして華やかさを出し、中間より少し下で墨継ぎをして全体を引き締めます。
 この形が一番オーソドックスな半切二行書きの構成です。本来は自由に書けばよいのですが、まずこの形式を習得すると半切の作り方が楽になると思います。線の張りと運筆のリズム感を大切にして、伸びやかな作品を目指してください。

予告 (五月二十二日締切)

葉桜の雨のしづくに青蛙まなこもぬれて鳴くにあるらし (太田水穂)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

内藤香瑶先生書

花繁竹暗應迷路 蝶趁鶯掠有便風 (王彦泓)
 花繁し竹暗く應に路に迷うべし、蝶趁い鶯掠め便風有り。

花繁竹暗應迷路
 蝶趁鶯掠有便風

香瑶書

訳：花は多く竹は密に路は迷わんばかりで、蝶はい追い鶯はかすめ順風に乗じている。

鈴木枝豊先生書

水の音に似て啼く鳥よ山ざくら松にまじれる深山の昼を (若山牧水)
 水の音二尔て啼久鳥よ山さくら松に万しれる深山の昼を

水の音に似て啼く鳥よ山ざくら松にまじれる深山の昼を

枝豊書

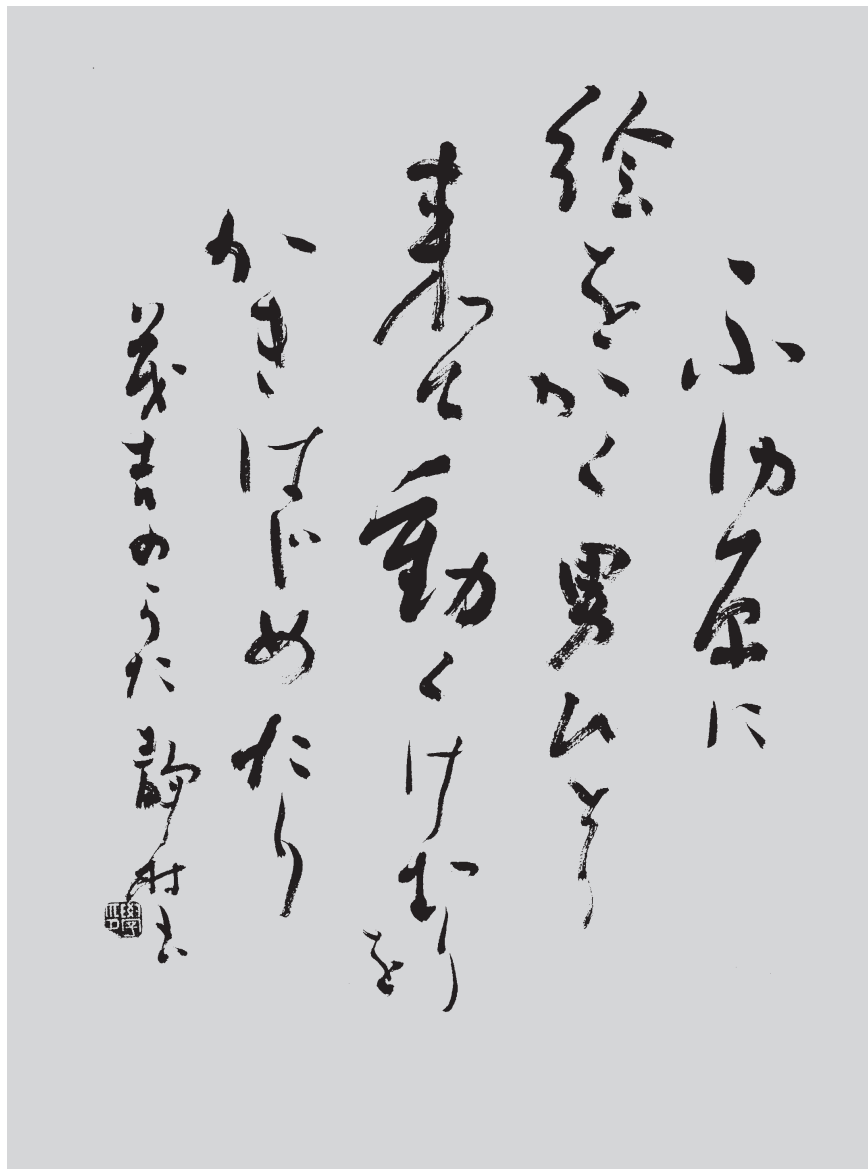
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

鈴木静村書

ふゆ原に絵をかく男ひとり来て動く
けむりをかきはじめたり

(齋藤茂吉)

構成上、求心風に丸く書く表現はおもしろいが、行間をはっきり表出させるよう心がけたい。
本文を四行に、落款を一行としての五行作。落款の印までに神経を働かせて締めたい。



・墨継ぎは「動、茂」。
特に、かなが多い
二・三行下半と四
行目には、単調に
ならぬよう、各自
個性的打ち出しに
一工夫を——。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

清泉石上に流る(王維)

訳：清泉が石上に流れている。

〈二つの三水について〉

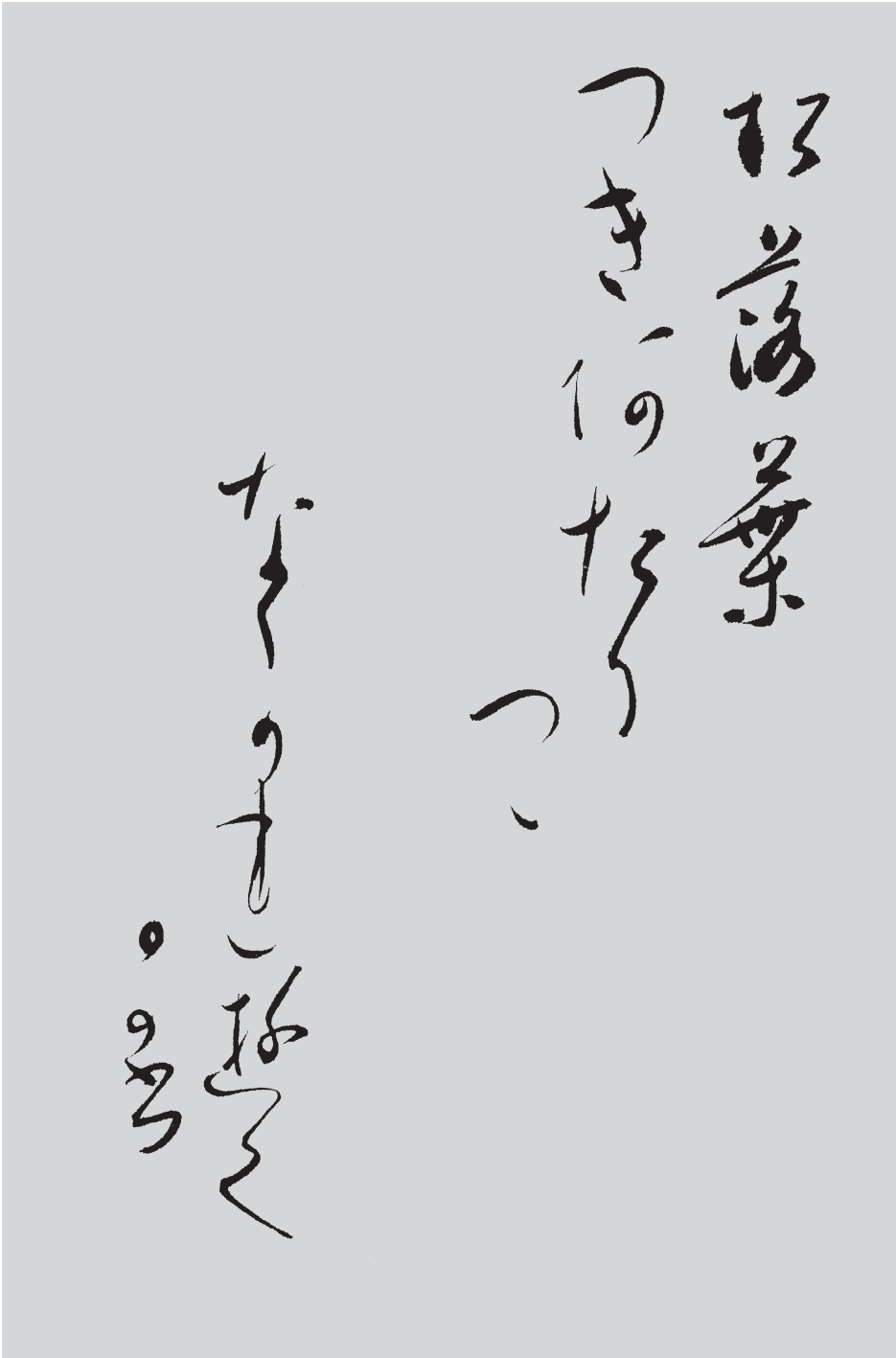
「三水」が二つでているので、上位者は特に気になるかと思えます。しかし、気にしすぎると、却って硬くなり、萎縮してしまいます。このようなとき、「同じでいい」と思い切って書いてみて下さい。同じものが二度書けるはずはないのです。「流」の「氵」点を打ってもよい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

松落葉つきあたりつつ流れゆく(千止)
 松落葉つき阿^あたりつゝな可^か連^れ遊^ゆ久^く



〈手本に即し連筆してみてください〉

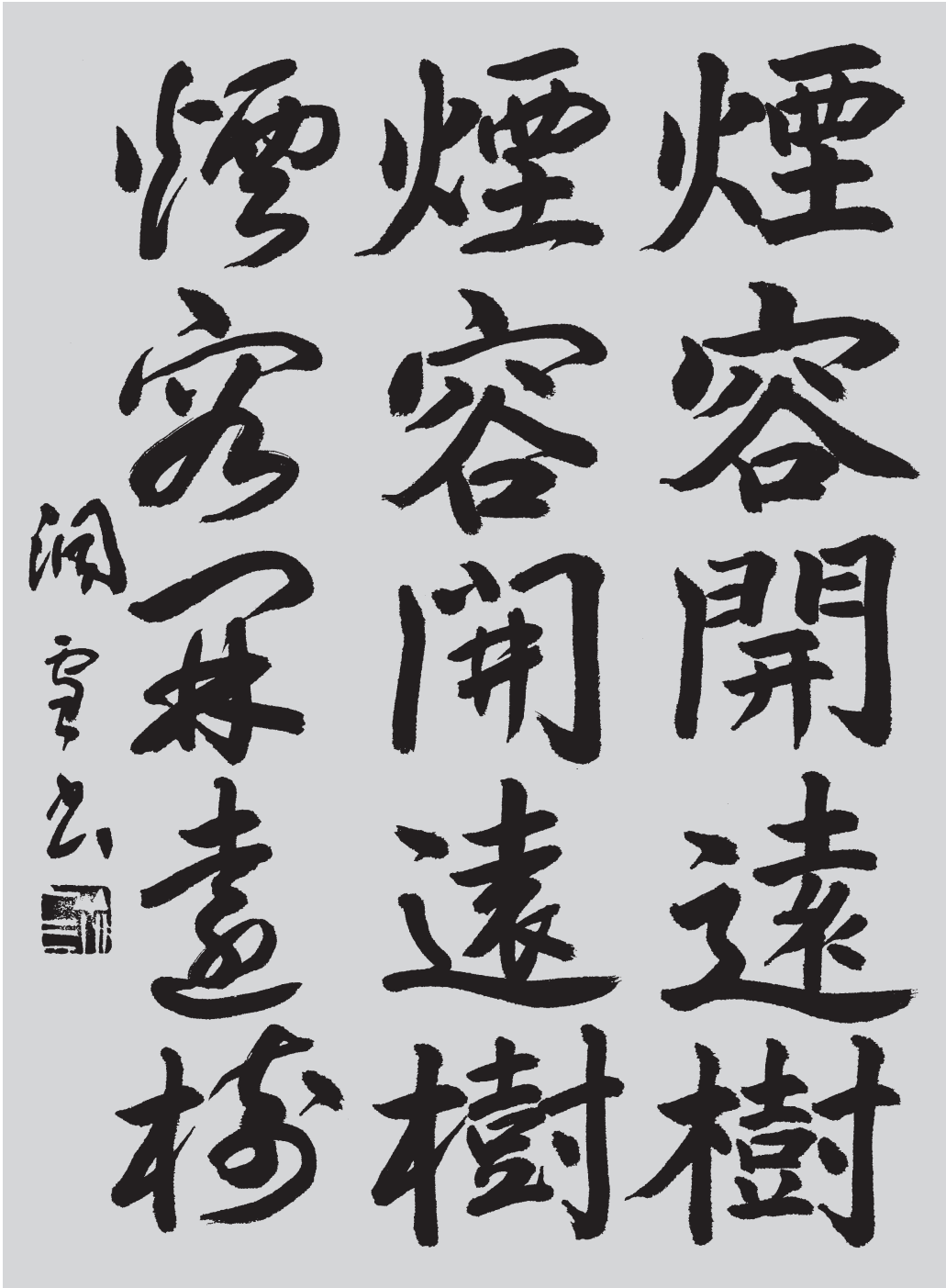
漢字は書出しの「松落葉」だけ、硬くなく行草調で。「つき阿」は、放ち書き、しかし、意連が大切。私は「つき」↓「つ」の手法。「つゝ」が改まって別ものにならないように、「ゝ」は軽くして上に抜く。左群「な可連」の連綿は円滑に美しく、「遊久」、大きくとも鎮めて収めたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

加藤 洞 雪 先 生 書

煙容開遠樹（孟浩然）
えんようえんじゅ ひら
煙容遠樹を開く。

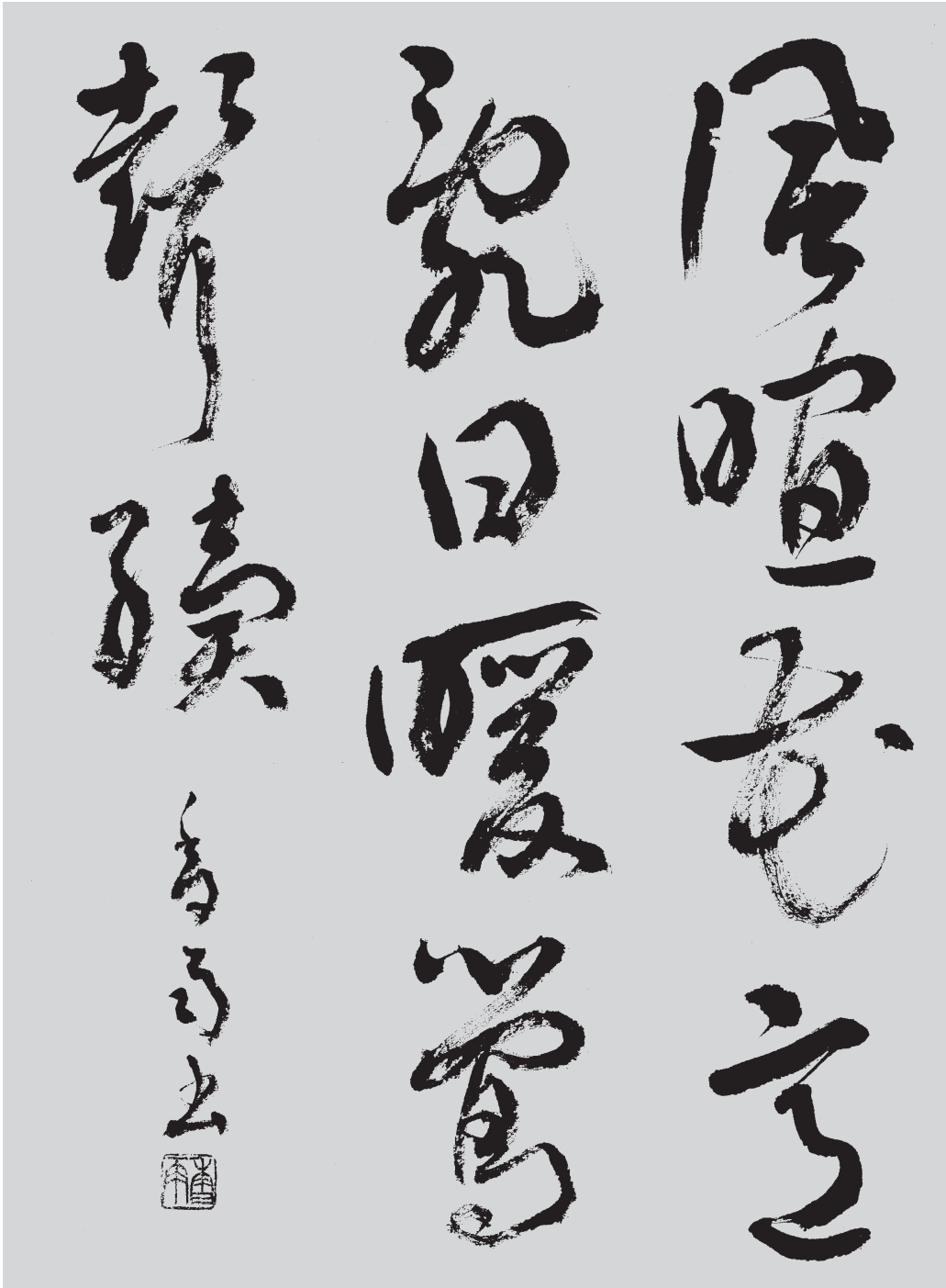


訳：春の霞で覆われていた遠くの山の木樹まで見えるほど霞が晴れてくる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

酒井香雨先生書

風暄花意亂かぜあたたか 日暖鶯聲續ひあたたか（王直）
風暄かぜあたたかかに花意亂かれ、日暖ひあたたかかに鶯聲おうせい続つづく。



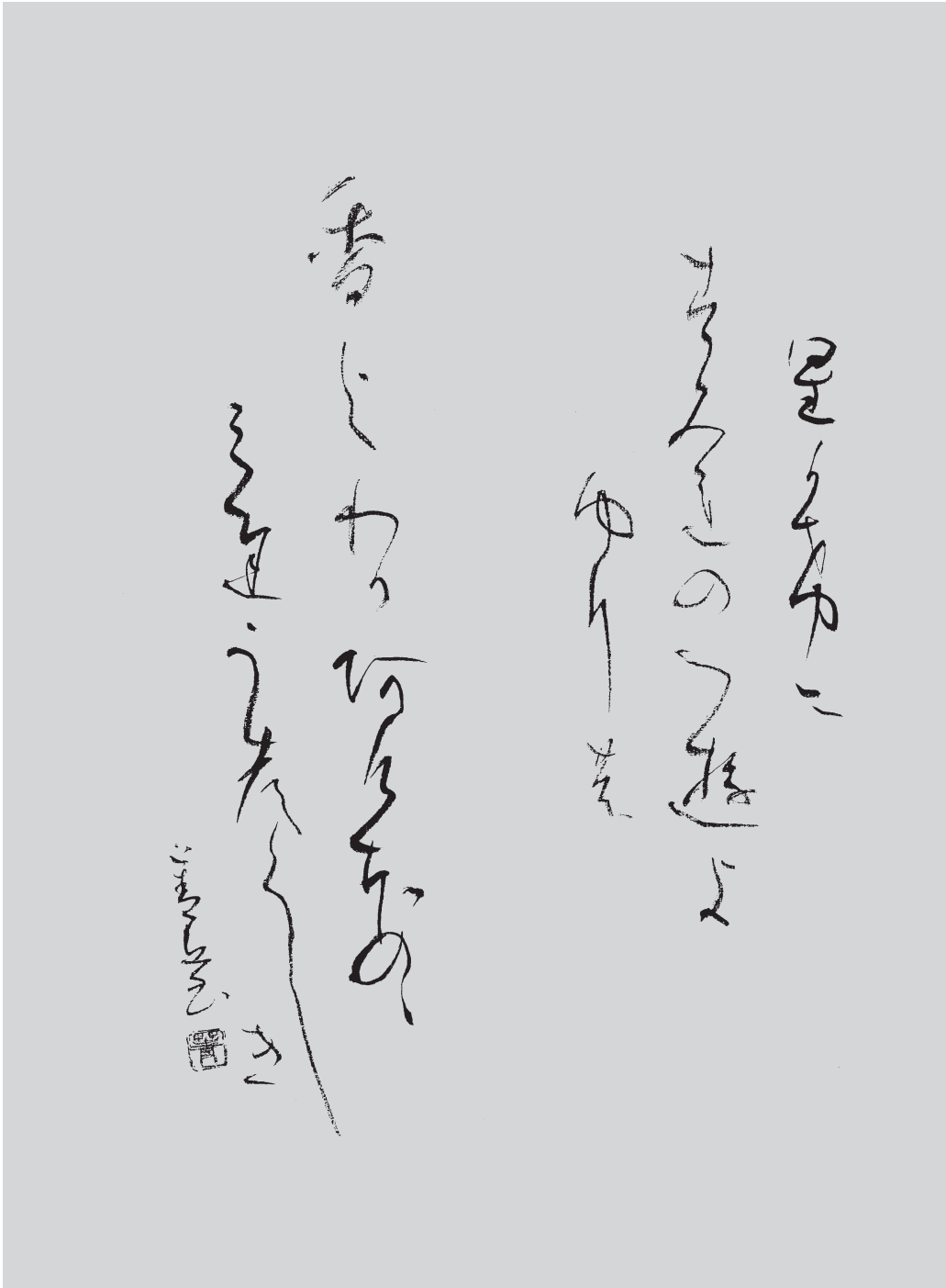
訳：風は暖かにそよそよと吹いて花意はみだれ、日は暖かにぼかぼかと照りうぐいすの声は絶えずに鳴く。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

北島菁丘先生書

星^{ほし}かげにすみれの露^{つゆ}よ百合^{ゆり}の香^かよわがあげぼの道^{みち}うつくしき（与謝野鉄幹）
星^{ほし}かげにすみれの川^{かわ}遊^ゆより農^{のう}香^か与^よわ可^か阿^あ介^け本の^{ほん}三^{さん}遅^ちう都^と久^くしき



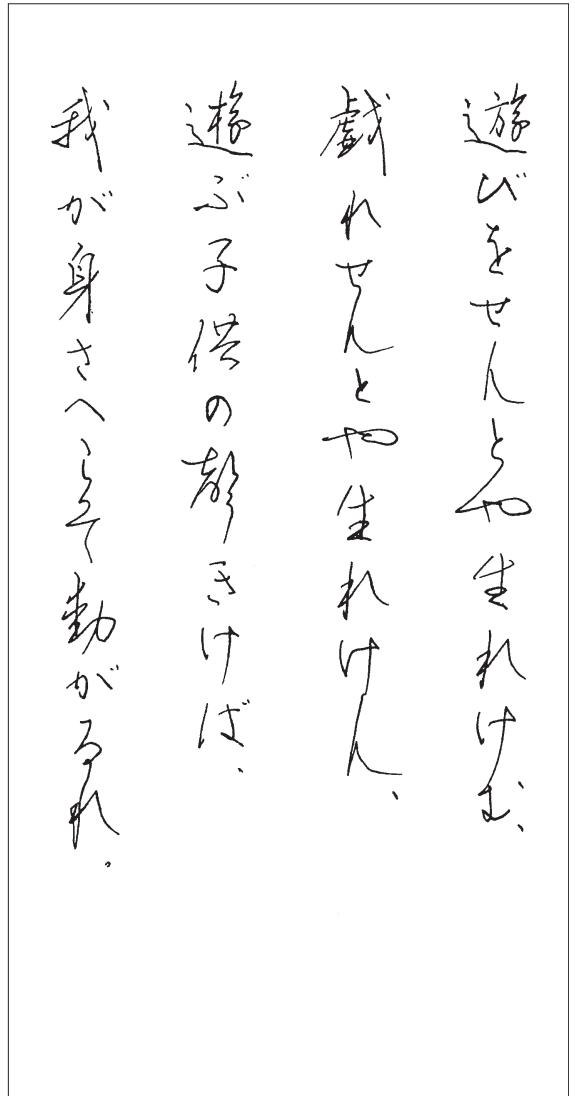
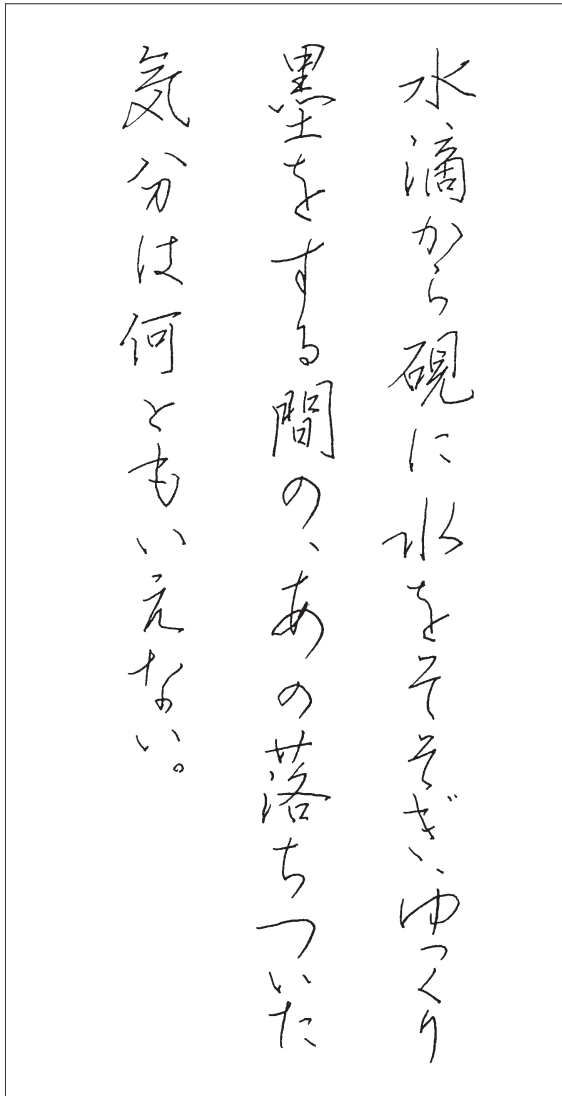
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

遊ぶをせんとや生れけむ、
戯れせんとや生れけん、
遊ぶ子供の声きけば、
我が身さへこそ動がるれ。

「梁塵秘抄」

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

水滴から硯に水をそそぎ、ゆっくり
墨をする間の、あの落ちついた気分
は何ともいえぬ。

「美の遍歴」白洲正子